NIE実践報告

1．タイトル **総合的な学習の時間「ＩＣＴ活用による学問調べ」**

２．学校名

北海道函館稜北高等学校

３．実践者名（代表者名）

櫻井　拓郎

４．学年

１学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・１６０名

６．単元（本時の学習課題）名

ＩＣＴを活用した学問調べ

７．目標(狙い)

情報検索のスキルを身につけるとともに、より深く進路や学習・学問についての認識を深める。

８．評価の視点

インターネット、図書室、進路資料、新聞を活用して情報検索のスキルを身につけ、担当した学問について、最近の動きや、学べる大学の学部を調べまとめて発表し、学問についての理解を深めることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

①オリエンテーション　１時間　②新聞スクラップ　２時間
「ＩＣＴ活用による学問調べ」全活動１１時間中３時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

【学習展開】
オリエンテーション　１時間　・　資料調べ　１時間　・　進路室資料調べ　１時間
図書室資料調べ　１時間　・　インターネット活用　１時間　・　新聞スクラップ　２時間
クラス内発表会　１時間　・クラス代表発表会（学年発表会）２時間　・　成績上位者表彰　１時間
【留意点】
「ＩＣＴ活用による学問調べ」という活動の中の情報検索スキルの１つとして、新聞から情報を見つけて活用するという活動である。「大学」や「学問の動向」「学問に関する話題」などの観点から情報を収集する。ＮＩＥで寄贈を受けた新聞各紙から自分が担当する学問に関連する記事を探してスクラップし、個人ワークシートや班ワークシート、クラス発表や全体発表の原稿作成などに活用する。新聞から最新の情報を検索するスキルを身につける。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

グループ内で協力し合いながら積極的に取り組むことができた。情報検索のために新聞を活用するスキルを身につけることができた。今まで関心のなかった学問にも興味をもつことができた。物事の背後に学問があると思った。学問についてさらに深く考えることができるようになった。将来役に立つと思った、など。

12．成果と課題

求める情報を得る手段として、新聞を活用する方法を身につけることができた。「ＩＴＣ活用による学問調べ」という学習の中で、新聞も情報検索の手段として活用できた。「学問調べ」は生徒が持っている専門性に対する意識を修正・レベルアップし、進路を考える段階で選択肢を広げる重要な活動である。インターネットでキーワードを入力して検索するだけでは、本当に求める情報に達することはできないことを理解させる一助となった。今後の課題として、新聞を日常的に読む習慣を身につけさせる指導にも取り組む必要がある。